



メコノプシス・シンプリキフォリア  
(subsp. グランドフローラ)

# 幸せの国・ブータンの メリーポピーたち

花を求めてブータン紀行

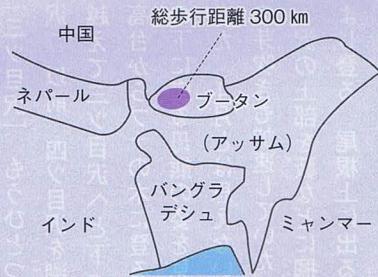
松永秀和

新連載

「秘境ブータン」（中尾佐助著）といわれてからはや60年。ブータン王国は、仏教と国民総幸福（GNH）を国是として、近代化・民主化を推し進めつつ、環境や伝統の保全を図ってきた。不便を承知で手つかずのまま残してきた自然、地球最後の楽園かもしれない。

2016年、国全体がモンスーンの厚い雲で覆われる6月中旬からの1カ月間、全ての青いケシ（ケシ科メコノプシス属）を見ようと、ブータンの中西部をトレッキングした。

（本誌編集部）



多くのハイカーは夏山に花を求めて出かける。だから日本の高山植物を目にする機会はたくさんある。

外国の高山植物を山の中で観察できるのは一部の方に限られているが、現地に行かなくとも、なかなか見られない姿の植物には多くの人が心躍るものである。日本の植物と比べてどうか？それを楽しみ、興味を持ってもらうきっかけになればと思い、松永氏にヒマラヤの高山植物を紹介していただく。

（本誌編集部）

松永秀和：青いケシ研究会、JACアルパインフォトクラブ（日本山岳会、カワカブ会（カワカブとは梅里雪山のこと。ヒマラヤチベットの自然と聖地を学ぶ会）に所属。株式会社インサイトリサーチ代表取締役）

背後の峠は、チヨモラリベースキャンプからリンシに抜けるニユリ・ラ（峠）で、標高4870m。ブナカを流れるモ・チュー（川）が峠の直下から流れ出している。日用品や食料を背に付けた荷駄の隊商が、下の峠道を通つていった。

7